

CSR 調達の取り組み

当社では年に1回、取引先審査を実施して調達基本方針の遵守のチェックを行っています。また2015年度には取引先を集め「調達方針説明会」を開催し、アキレス調達基本方針の趣旨、内容を説明し、CSR活動への取り組みの重要性と積極的な推進を要請しました。



調達方針説明会
(東京本社)

取引先様との対話

当社では、2014年に引き続き2015年も10月に「Achilles THE NEXT」を開催しました。会場では当社の製品や技術を広くご紹介し、ご来場者様からは貴重なご意見をいただきました。頂戴したご意見から新たなビジネスが生まれ始めています。総来場社数は835社でした(お得意先様494社、仕入先様238社、その他103社)。



会場風景



プレゼンテーション風景

従業員と共に

基本的な考え方

アキレスグループは従業員を重要なステークホルダーと位置づけています。「アキレス企業行動憲章」で「従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい健康的な職場環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します」と定め、その実践として必要な制度や活動内容を決定し推進しています。その根幹にある考え方は、従業員との「共存共栄」です。

人権尊重・公平

アキレスグループは、法のもとでの雇用関係を遵守し、違法労働や児童労働、性的差別、人種差別、宗教的差別などの人権侵害を行いません。またこれらの行為に加担しません。「アキレス行動指針」において、人権尊重を含む倫理的行動および遵法をグループの全従業員が誓約しています。

アキレスグループでは、全ての従業員に対し公平・均等に機会を与えるように努めています。パワーハラスメント・セクシャルハラスメントを禁止し、社内外に相談窓口を設けています。

雇用機会

アキレスグループでは、安定した雇用の維持と雇用機会の拡大を図るため、計画的な雇用にも努め、均等な雇用機会を提供しています。

●従業員数(国内グループ会社) ※2016年3月31日現在

男性 1,259 人	女性 253 人	合計 1,512 人
------------	----------	------------

●従業員基本データ(単体) ※2016年3月31日現在

平均年齢	男性 41.9 歳	女性 44.5 歳	全体 42.3 歳
勤続年数	男性 20.0 年	女性 23.5 年	全体 20.5 年
平均年収	約 566 万円		

●人材(単体) ※2016年3月31日現在

役員 (執行役員を含む)	男性 19 人	女性 1 人	合計 20 人
部長職	男性 48 人	女性 0 人	合計 48 人
課長職	男性 204 人	女性 4 人	合計 208 人

●定年退職者再雇用制度(単体) ※2016年3月31日現在

2015 年度制度利用者	140 人
--------------	-------

個人情報保護

アキレスグループでは、個人情報管理規定を設け、そのうち「従業員の個人情報管理」に関する部分を独立した条文として、従業員の個人情報を保護・管理しています。また「従業員の個人情報」については、社内システム上で複数階層のセキュリティを設定し、アクセス可能な人員を限定しています。

福利厚生

当社では、各地の事業場所在地において、独身寮、社宅などの施設および、社員持株制度などによる社員生活安定の支援を行っています。また少子高齢化社会における仕事と家庭の両立支援策として、育児・介護休業制度などを設けています。

●育児休業制度(単体)

2015 年度制度利用者	男性 1 人	女性 11 人	合計 12 人
--------------	--------	---------	---------

●介護休業制度(単体)

2015 年度制度利用者	0 人
--------------	-----

●年間平均総実労働時間(単体)

2015 年度実績	1,959.3 時間
-----------	------------

●平均有給休暇取得日数(単体)

2015 年度実績	9.1 日 (48.9%)
-----------	---------------

労働組合

労使関係

当社には、アキレス労働組合とアキレス本社労働組合の2つの労組があります。共に労使の相互信頼をベースに、会社方針に則り会社発展に貢献することで、従業員の生活維持・向上につなげていくとの基本方針のもと、充実した労使のコミュニケーションを図り、労使協調した取り組みを進めています。

アキレス労働組合には、製造部門で働く、役員、管理職を除く従業員835人*が加入しています。また、アキレス本社労働組合には、営業部門で働く、役員、管理職を除く従業員219人*が加入しています。

*2016年7月1日時点の加入員数

労働組合との協議状況

当社では、年2回の給与および賞与の協議と関連し、年3回の運営協議会(5月、9月、11月)を定例的に開催しているほか、人事諸制度の変更や福利厚生に関する内容など労働条件に関する変更や新設などは、労使で協議し、合意の上で実施しております。また、安全衛生、環境、資格制度、再雇用など、労使双方による委員会での検討し、公平かつ適正な運用を図っています。

【主な労使協議】

運営協議会 (年3回)

本部労使協議(原則月1回とし、都度実施)

支部労使協議(原則月1回とし、都度実施)

支部協議(都度実施)

労使共催行事

当社では、健康増進・コミュニケーション向上などを目的とした労使共催の行事により、労使間の交流を図っています。新入社員を迎えるソフトボール大会・ボウリング大会は定例行事となり、所属部署の枠を超えて従業員同士の親睦を深めるコミュニケーションの場となっています。



新入社員歓迎ボウリング大会(東京本社)



ゴルフ教室(足利地区)



アキレスウォーク(足利地区)



木曾路馬籠宿ウォークラリー(滋賀地区)



赤い羽根共同募金活動(足利地区)

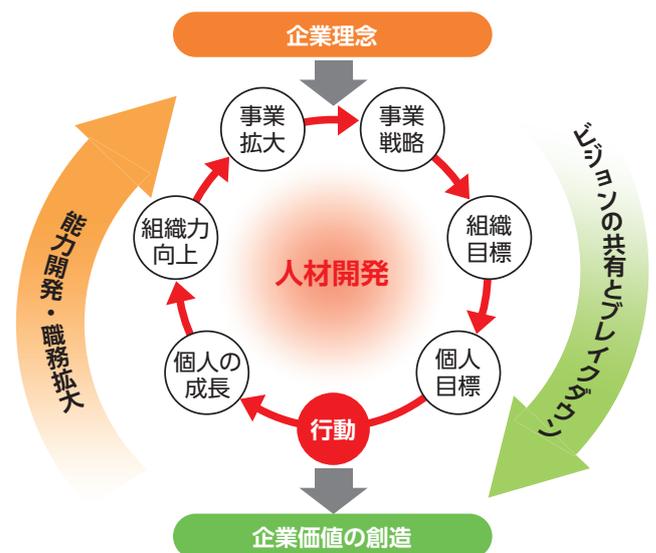
芸術展(足利地区)

人材開発

変化の激しい社会環境の中で生き残っていくためには、社員一人ひとりの人間力の向上を図り、企業価値を次々と創造し続ける集団になることが必要です。そのために、当社では人材開発を積極的に推進しています。「人」という経営資源のパフォーマンスを向上させるとともに、一人ひとりの成果を組織成果に結び付けることで組織全体を活性化し、社員がその能力を存分に発揮しながら生き生きと働ける環境を創り出しています。アキレスグループは、社員一人ひとりの人間力の育成とそれを生かせる組織づくりに取り組んでいます。

人材開発基本方針

1. 明確なビジョンを描き、その達成のために適切なリーダーシップを発揮できる人材を育成する。
2. リーダーの描くビジョンを実現するため自ら問題を発掘してその解決を図り、仕事の付加価値を高めることのできる人材を育成する。



人材開発体系

当社の人材開発は「人材開発基本方針」のもと、社会に必要とされる企業であり続けるために、企業価値の持続的向上に資する幅広い知識・経験と複数の専門性を兼ね備えたリーダーの育成を目指しています。

OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング=業務内指導)

当社の人材開発の基本はOJTです。上司と連携して業務目標を決め、課題達成にチャレンジし、適時にレビューを行います。コミュニケーションを通して気付きを促し視座を高めていきます。

Off-JT(オフ・ザ・ジョブ・トレーニング=集合研修)

当社では、各自の役割に応じて求められるスキルや専門知識の習得は、集合研修で支援しています。



グローバル研修風景(東京本社)

管理職研修風景(足利工場)

SD(セルフディベロップメント=自己啓発)

当社では、社員の能力向上意欲に敬意を表し、補助金支給制度を設けて通信研修を奨励しています。これにより一人ひとりが必要と考える科目を選択し、自分の能力向上につなげています。

●教育研修体系(単体)

	役員	事業部長	部長	課長	各階層	新人
幹部育成						
グローバル						
管理職						
階層別						
コンプライアンス						
専門性						
OJT 支援						
自己啓発						

●2015年度の主な集合研修

研修区分	研修数	参加者数
幹部育成研修	4回	79人
グローバル研修	3回	172人
管理職研修	9回	387人
階層別研修 (うち、新人研修)	19回 (3回)	514人 (55人)
コンプライアンス研修	4回	3,608人
専門性向上研修	44回	727人

※コンプライアンス研修はアキレス国内グループ全従業員の実績です。ほかの研修はアキレス(株)の従業員の実績です。なお参加者数は、研修区分内の各研修テーマに参加した従業員数の合計数です

地域社会と共に

事業を通じた地域社会との関わり

当社では、雇用を通じた人材の育成や物品の現地調達の推進など、事業活動を通して地域社会の発展に貢献しています。

新たに事業を開発する地域では、事前の調査やコミュニケーション、情報開示を重視しています。2016年1月より、山形アキレスエアロン(株)が山形県金山町で、操業を開始しました。地域の伝統的な金山杉を外壁の一部に生かした金山町こだわりの建屋を拠点にウレタンフォームの加工を行っています。



山形アキレスエアロン

また地元の大学や研究機関との連携も、積極的に推進しています。当社米国子会社(Achilles USA, INC.)は、「トビタテ！留学JAPAN」*を利用して米国への留学を決めた山形大学の学生を、インターンシップで受け入れ、「グローバル人材育成」を応援しています。

*文部科学省が2013年10月より開始した留学促進キャンペーン。意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す気運を醸成することを目的としている制度